

和漢診療部

助 授 寺 澤 捷 年
助 手 土 佐 寛 順
助 手 檜 山 幸 孝
文部技官 鳥居塚 和 生

◆ 著 書

1) 寺澤捷年：東洋医学からみたストレス。東洋医学的なストレスケア。「ストレスの科学と健康」河野友信他編，19—22，250—258，朝倉書店，1986。

2) 寺澤捷年：神経・筋疾患の漢方治療総論。「漢方保険診療指針」日本東洋医学会漢方保険診療指針編集委員会編，191—194，日本東洋医学会，1986。

◆ 原 著

1) Terasawa K., Bandou M., Tosa H. and Hirate J. : Disposition of Glycyrrhetic acid and its Glycosides in healthy subjects and patients with Pseudoaldosteronism, *J. Pharmacobio. Dyn.* **9**: 95—100, 1986.

2) Terasawa K., Bandou M., Tosa H., Torizuka K. and Hirate J. : Disposition of glycyrrhetic acid after oral administration of Kanzdō—tō and Syakuyaku—kanzdō—tō in the rat. *J. Med. Pharm. Soc. WAKAN—YAKU* **3**: 105—110, 1986.

3) Terasawa K., Toriizuka K., Tosa H., Ueno M., Hayashi T. and Shimizu M. : Rheological studies on “oketsu” syndrome I. The blood viscosity and diagnostic criteria. *J. Med. Pharm. Soc. WAKAN—YAKU* **3**: 98—104, 1986.

4) Terasawa K., Imadaya A., Tosa H., Mitsuma T., Torizuka K., Takeda K., Mikage M., Hattori M. and Namba T. : Chemical and Clinical Evaluation of Crude Drugs Derived from *Angelica acutilobae* and *sinensis*. *Fitoterapia* **LVI**: 201—208, 1985.

5) Terasawa K., Shimada Y., Imadaya A., Toriizuka K. and Ochi K. : A case of dermatomyositis with manifestation of IG—binding macro—CPK. *Japanese Journal of Rheumatology* **1**: 53—59, 1986.

6) Watanabe H., Hiyama Y., Suda H., Sekihara S. and Terasawa K. : Functional compensation by Transplantation of Cell Suspensions of Embryonic Mesencephalon into the Striatum of Rats with 6Hydroxydopamine Lesions. *Japan. J. Pharmacol.* **40**: 501—593, 1986.

7) Tokunaga A., Otani K., Sugita S. and Terasawa K. : Quantitative Analysis of the Superior Colliculus and the Parabigeminal Nucleus in the Hereditary Unilaterally Microphthalmic Rat. *Okajimas Folia Anatomica Japonica* **62**: 365—384, 1986.

8) Sugita S., Otani K., Tokunaga A. and Terasawa K. : Distribution of the tecto—thalamic projection neurons in the hereditary microphthalmic rat. *Exp. Brain Res.* **60**: 564—575, 1986.

9) Kawashiri N., Toriizuka K., Adachi I., Ueno M., Terasawa K. and Horikoshi I. : Effects of Traditional Crude Drugs on Fibrinolysis by Plasmin, Antiplasmin Principles in *Eupolyphaga*. *Chem. Pharm. Bull.* **34**: 2512—2517, 1986.

10) 寺澤捷年，土佐寛順，檜山幸孝，今田屋 章：小続命湯に関する一考察（I）。*日本東洋医学雑誌* **36**: 233—238, 1986。

11) 寺澤捷年，土佐寛順，檜山幸孝，今田屋 章：小続命湯に関する一考察（II）。*日本東洋医学雑誌* **37**: 1—8, 1986。

12) 檜山幸孝，寺澤捷年，土佐寛順：漢方治療が奏効した非定型顔面痛の5症例。*日本東洋医学雑誌* **37**: 123—129, 1986。

13) 馬 永華，垣内信子，服部征雄，寺澤捷年，平手純司，加藤義輝，堀越 勇，深作 昇，難波恒雄：厚朴成分 magnolol の代謝研究III (ring—14C) magnolol 投与ラットの全身オートラジオグラフィートについて。*和漢医薬学雑誌* **3**: 129—135, 1986。

14) 中川輝昭，安田晶子，鳥居塚和生，足立伊佐雄，上野雅晴，堀越 勇：Thromboelastgraph を利用したUrokinase の定量および溶解後の安定性。*病院薬学* **12**: 3669—372, 1986。

◆ 学会報告

1) 三瀧忠道，横澤隆子，鈴木奈緒美，寺澤捷年，大浦彦吉：慢性腎不全に対する中国産大黃の治療経験。第23回日本臨床代謝学会総会，1986，2，福岡。

2) 難波恒雄，服部征雄，垣内信子，馬 永華，寺澤捷年，堀越 勇，平手純司，加藤義輝：厚朴成分 Magnolol のラット臓器における分布と代謝。日本薬学会第106年会，1986，4，千葉。

3) 川尻憲行，鳥居塚和生，足立伊佐雄，上野雅晴，堀越 勇，寺澤捷年：駆瘀血生薬の研究—線溶，凝固系に対する蜜虫の作用—。日本薬学会第106年会，1986，4，千葉。

4) 三瀧忠道, 土佐寛順, 寺澤捷年: 慢性腎不全の和漢薬治療—大黃について—, 第37回日本東洋医学会学術総会, 1986, 5, 広島.

5) 伊藤 隆, 土佐寛順, 三瀧忠道, 寺澤捷年: 赤丸料の適応病態に関する一考察. 第37回日本東洋医学会学術総会, 1986, 5, 広島.

6) 土佐寛順, 嶋田 豊, 城石平一, 寺澤捷年: 奔豚気病に対する一考察. 第37回日本東洋医学会学術総会, 1986, 5, 広島.

7) 檜山幸孝, 寺澤捷年, 城石平一, 嶋田 豊, 松田治己: 非定型顔面痛に対する和漢治療の試み. 第37回日本東洋医学会学術総会, 1986, 5, 広島.

8) Terasawa K.: Scientific Approach to the Concept "Sho" (Zeng 證) in Traditional Chinese Medicine. The Joint Conference of The 2nd World Congress of Chinese Medicine and The 2nd International Symposium on Acupuncture and Moxibustion, 1986, 5, Taipei, Taiwan.

9) Terasawa K.: The present situation of education and research work of traditional chinese medicine in Japan. International Symposium on Integration of Traditional and Modern Medicine, 1986, 5, Taichun, Taiwan.

10) Terasawa K.: Clinical research on traditional medicine in Japan. W. H. O. Scientific Group on Herbal Medicine Research, 1986, 11, Manila Philippines .

11) 鳥居塚和生, 寺澤捷年, 西山パウラ, 川尻憲行, 足立伊佐雄, 上野雅晴, 堀越 勇: 当帰中の血小板凝集阻害成分について. 第3回和漢医薬学会総会, 1986, 8, 東京.

12) 嶋田 豊, 喜多敏明, 檜山幸孝, 寺澤捷年, 木村道郎: 電顕上筋内アミロイド沈着をみとめた糖尿病性筋萎縮症と考えられた1例. 第40回北陸医学会総会内科分科会, 1986, 9, 金沢.

13) 柴原直利, 布施信三, 伊藤 隆, 土佐寛順: 鯉魚赤小豆煎の経験2例. 第12回日本東洋医学会北陸支部例会, 1986, 10, 富山.

14) 古田一史, 嶋田 豊, 檜山幸孝, 寺澤捷年: 茯苓補心湯が著効を示した多汗症の一例. 第12回日本東洋医学会北陸支部例会, 1986, 10, 富山.

15) 松田治己, 城石平一, 三瀧忠道, 寺澤捷年: 大防風湯治療. 第12回日本東洋医学会北陸支部例会, 1986, 10, 富山.

16) 嶋田 豊, 土佐寛順, 城石平一, 三瀧忠道, 寺澤捷年: 舌と胃十二指腸内視鏡所見の関連性についての検討. 第32回日本消化器内視鏡学会総会,

1986, 10, 東京.

17) 寺澤捷年: 漢方に於ける大黃の適応. 伊藤セミナー, 1986, 10, 札幌.

18) 三瀧忠道: 大黃の腎不全治療の臨床効果. 伊藤セミナー, 1986, 10, 札幌.

19) 坂東みゆ紀, 鳥居塚和生, 土佐寛順, 寺澤捷年: グリチルレチン酸の体内動態に関する研究III. 日本生薬学会第33回年会, 1986, 10, 埼玉.

20) 寺澤捷年: 漢方医学的に見た冷え症の病態とその治療. 日本生薬学会第33回年会 (特別講演), 1986, 10, 埼玉.

21) 横澤隆子, 大浦彦吉, 三瀧忠道, 寺澤捷年: 大黃並びに大黃含有漢方方剤による慢性腎不全の治療経験. 第29回日本腎臓学会総会, 1986, 11, 東京.

22) 檜山幸孝, 寺澤捷年: 「奔豚」—自律神経発作—カテコラミン動態よりの検討. 第759回千葉医学会例会・第4回神経内科例会. 第252回脳研談話会, 1986, 千葉.

23) 関 太輔, 柴原直利: Weber—Christian 病の1例. 日本皮膚科学会北陸地方会第320回例会, 1986, 9, 金沢.

24) 津田昌樹, 伊藤 隆, 三瀧忠道: 小児鍼(皮膚鍼)による温補の効果と湯液における証との関係について. 第12回日本東洋医学会北陸支部例会, 1986, 10, 富山.

◆ 総 説

1) 寺澤捷年: 瘀血症の現代科学的研究. Pharma Medica 新春増刊号 4: 45—52, 1986.

◆ その他

1) 寺澤捷年: 痛みと漢方. Medical Way 3: 27—34, 1986.

2) 寺澤捷年: 気管支喘息と漢方薬. 治療学 16: 643—646, 1986.

3) 寺澤捷年: 和漢診療の実際1—いまなぜ漢方か?—. 看護学雑誌 50: 90—93, 1986.

4) 寺澤捷年: 和漢診療の実際2—漢方薬と和漢薬—. 看護学雑誌 50: 210—213, 1986.

5) 寺澤捷年: 和漢診療の実際3—気について—. 看護学雑誌 50: 330—333, 1986.

6) 寺澤捷年: 和漢診療の実際4—気のうっ滞と逆流—. 看護学雑誌 50: 450—453, 1986.

7) 寺澤捷年: 和漢診療の実際5—血について—. 看護学雑誌 50: 570—573, 1986.

8) 寺澤捷年: 和漢診療の実際6—血の滞り・瘀血について—. 看護学雑誌 50: 690—693, 1986.

9) 寺澤捷年: 和漢診療の実際7—水と水滯—. 看護学雑誌 50: 810—813, 1986.

10) 寺澤捷年：和漢診療の実際 8—病因と表裏について一。看護学雑誌 50：930—933, 1986.

11) 寺澤捷年：和漢診療の実際 9—陰陽と虚实・寒熱について一。看護学雑誌 50：1050—1053, 1986.

12) 寺澤捷年：和漢診療の実際10—太陽病の治療について一。看護学雑誌 50：1170—1173, 1986.

13) 寺澤捷年：和漢診療の実際11—少陽病の治療について一。看護学雑誌 50：1290—1293, 1986.

14) 寺澤捷年：和漢診療の実際12—陽明病の治療について一。看護学雑誌 50：1410—1413, 1986.

15) 土佐寛順, 寺澤捷年, 檜山幸孝, 今田屋 章：漢方的腹候“心下痞鞭”と血中カテコールアミンとの関連について。和漢医薬学会誌 2：656—657, 1985.

16) 渡辺裕司, 檜山幸孝：レボドパの毒性と副作用。薬局 37：35—37, 1986.

17) 三瀧忠道：大黄製剤にみられる抗尿毒症作用の臨床。治療学 16：21—25, 1986.

18) 寺澤捷年：漢方と心身相関。S P S October：27—44, 1986.

19) 城石平一, 矢野三郎：漢方薬。「最近の薬物療法 6 糖尿病・腎炎」現代医療社：57—67, 1986.

20) 寺澤捷年：和漢診療からみた頭痛, 頭痛の一特殊型—奔豚気病について一。とやま県医報 Na930：28—29, 1986.

21) 寺澤捷年, 長瀬千秋：学会記—第四回国際東洋医学会一。日本医事新報 第3221号：50—52, 1986.

22) 寺澤捷年：こんな時は漢方治療を。「読むクリニック」朝日新聞学芸部編, 208—211, 1986.

23) 寺澤捷年：評価指標としての血液学的変化, S O D・ホルモンに関する研究。「証・経穴の科学的事実証及び生薬資源の確保に関する研究」研究成果報告書 (昭和61年度)：200—204, 1986.

24) 堀越 勇, 鳥居塚和生：薬事新報・実務シリーズ・調剤と製剤「漢方の調剤と製剤」1397号：25—31, 1403号：53—56, 1406号：25—29, 1986.

25) 寺澤捷年：漢方と痛み。痛みの治療講習会, 1986, 4, 熊本.

26) 寺澤捷年：頭痛の一特殊型—奔豚気病について。昭和61年度富山県麻酔科医会研究会, 1986, 5, 富山.

27) 土佐寛順, 嶋田 豊, 寺澤捷年, 金木美智子, 今田屋 章：消化性潰瘍に対する漢方治療の現状報告。富山県消化性潰瘍研究会, 1986, 6, 富山.

28) 鳥居塚和生, 土佐寛順, 寺澤捷年：当帰及び

当帰含有製剤の血液性状に対する作用。第2回富山和漢薬懇話会, 1986, 8, 富山.

29) 寺澤捷年：脊髄病巣診断のコツ。整形外科立山セミナー, 1986, 8, 富山.

30) 三瀧忠道, 寺澤捷年, 横澤隆子, 大浦彦吉：大黄並びに大黄含有漢方方剤による慢性腎不全患者の治療経験。第13回富山県腎疾患・人工透析研究会, 1986, 11, 富山.

31) 寺澤捷年：東洋医学における“気”の概念と呼吸器疾患。第27回呼吸器心身症研究会 (特別講演), 1986, 12, 大阪.

検 査 部

教授 桜川 信 男
助 教授 高 橋 薫
助 手 斎 藤 宗 一

◆ 著 書

1) 桜川信男：血友病およびその類似疾患の新しい治療薬。「立山シンポジウムIII 凝固・線溶・血小板研究——基礎と臨床——」風間睦美他編, 184—189, 宇宙堂八木書店, 1986.

2) 桜川信男：アンチトロンビンIII富山：Arg → Cys 置換とヘパリン結合能。「立山シンポジウムIII 凝固・線溶・血小板研究——基礎と臨床——」風間睦美他編, 95—101, 宇宙堂八木書店, 1986.

3) 桜川信男：アンチトロンビンIII。「凝固線溶因子と臨床」山中學他編, 110—122, 富士レビオ, 1986.

4) 桜川信男：播種性血管内凝固症候群。「今日の診断指針」亀山正邦他編, 833—886, 医学書院, 1986.

5) 桜川信男：脳血栓・塞栓症の線溶療法。「血栓の形成と溶解」阪口周吉他編, 167—180, メディカルリサーチセンター, 1986.

◆ 原 著

1) Arai H. Sakuragawa N. et al: Antiplatelet therapy using a combination of dilazep and aspirin in patients with occlusive cerebrovascular diseases. Acta Medica et Biologica 33:123—132, 1985.

2) Arai H., Sakuragawa N. et al: Studies on the effects of administration of DDAVP in patients with cerebrovascular occlusive diseases from the viewpoint of blood coagulation-fibrinolysis in vessel walls. Acta Medica Biological